

MOTTAINAI (もったいない)

子どもだから見える！
子どもだから楽しめる！
子どもだから学んでる！

先日、新聞を見ていると、子どもについて、面白い記事に出会った。子どもは大人とは違った視点で身の回りを見ていると。そこから、学びが始まっている。確かそんな記事だった。

その記事に思い当たることがあった。今年一番の寒波で、大阪でも雪がちらついた翌朝、何組かの子どもたちが、家の池にはった氷を大事そうに持って来た。「校長先生、見て！見て！」宝物のように手袋や服の袖口にはさんで見せてくれた。

大人は、(寒い・冷たい)と片づけてしまうことが、子どもにとっては、天から贈られた尊いプレゼントになっているのでしょう。そこから、「何故、氷がはったの?!」「次は、いつかな?!」「寒い夜も、「明日は、また、氷がはるかな?!」、子どもの好奇心と学びは続いていく。



低学年の子どもが、つるつるに輝く泥だんごを、宝物のように見せてくれることもある。そして、上手に作れる子は、名人として、注目を浴びる。そこにも、職人芸に通じる技がある。子ども同士の学び合いがある。

『人生に必要な知恵は、全て幼稚園の砂場で学んだ』という本があるが、子どもの好奇心は、あらゆることが、感動に学びにつながってるのだろう。

梅と桜の開花 冬の低温が花を咲かせる！

先々週から、HPで載せている「春の知らせ」（梅と桜の開花）。何故、この寒い時期に梅の花が咲くのか不思議に思い、調べて見ました。

すると、北海道では、梅と桜がほぼ同時に咲くということを知りました。

そして、その理由がこの寒い時期に梅が咲く理由でもありました。

梅も桜も、夏に花芽ができ、秋に休眠に入ります。そして、冬の低温で休眠から目覚めます（休眠打破）。この休眠打破のための条件、低温要求が植物によって違うそうです。

桜は、この低温要求が厳しいため、ある程度低温が続かないと桜が目覚めません。そこで、暖かい地域では目を覚ますのに時間がかかり、結果として、暖かい地域と寒い地域との間で、梅と桜の開花時期の差が縮まっているのです。

青森や北海道では、梅と桜のお花見が、同時に楽しめるそうです。

冬の厳しさが、花を目覚めさせるのですね。なんか、子育てにも、人の育成にも通じるかも。ちなみに、うちの長女も桜（名前）ですが、適切な低温要求に応えることができたかな？（^o^）



今、はまってるテレビ

「刑事 フォイル」

ー公平・誠実・人間について考えるー

日曜日の夜9時、連れ合いがいつもつけるドラマがある。NHKのBSで放映されている「刑事フォイル」。



連れ合いは、無類のサスペンス好き。テレビで放映されている全てのサスペンスを録画している！とは、言い過ぎか？

「また、サスペンスか？」と思いながら、横で新聞を見たりしていると、内容や背景が深く、いつしか、私も日曜日の9時が心待ちの時間に。

第二次世界対戦の最中であっても、公平な捜査が進められ、弱い立場の人への暖かい眼差しがある。そして、正義とは、誠実とは、人間とは、いつも深く考えさせられます。

ちなみに、3月12日（日）が、最終回です。

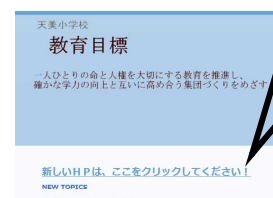
HPを登録してください！

昨年、5月にリニューアルしたHP。9月には、松原市のシステムが変わり、さらに利便性の高いHPに変わりました。毎日、多くの方からアクセスいただき、学校教育自己診断でも、評価の声をいただき、更新の励みにもなっています。

来年、入学される保護者の皆様も、是非、下記のQRコードを登録していただき、学校生活の様子を覗いてください。

家庭での食卓の話題にしていだければ、幸いです。

尚、検索エンジンから入られる場合、松原市立天美小学校で検索していただくと、旧のHPが立ち上がりますので、画面左の中ほど「新しいHPは、ここをクリックしてください！」をクリックすると、新しいHPに移ります。



ここをクリック
してください！